【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
小児理学療法学		(新)必修 (旧)選択	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
花城 久子 他	講師控室	kyoumu	授業時間後		
授業の目的・概要	小児の発達過程と障害の成り立ちを理解し、理学療法士として必要な療育援助について理解することを目的とする。小児の発達や成長について課題学習等を通して理解し、その後の授業においてフィードバックを行う。また、小児疾患の特性を考慮した評価、治療法について遠隔授業による動画を通して理解し、その後、フィードバックとメディアを利用したグループワーク等の意見交換を行い更なる理解を深める。				
授業形式・方法	☐ 対面授業 ☒ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習) ☒ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技 ☒ PBL ☐ グループワーク ☐ その他 () ☐ 反転授業 ☐ プレゼンテーション ☐ ディスカッション・レポート ☐ 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	授業内容に関する質問は積極的に行い、理解を深めてほしい。				
教科書	シンプル理学療法シリーズ 小児理学療法学テキスト 改訂第 2 版/著者:大城昌平 他/編:細田多穂/南江堂				
参考書	こどものリハビリテーション医学 第 2 版/著:陣内一保 他/編:伊藤利之/医学書院 こどもの理学療法 第 2 版 (理学療法学テキスト) /著:千住秀明 他/編:田原弘幸/神陵文庫				
外部教材	特に無し				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	小児の発達と成長について説明できる。		PT (1)、(5)、(6)		
②	小児疾患・障害の特徴を説明できる。		PT (1)、(5)、(6)		
③	小児疾患・障害に対する評価、治療法を説明できる。		PT (1)、(5)、(6)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	小児リハビリテーションの概要について学ぶ	[担当] 花城久子	同時双方向型授業	課題: ミラニー発達チャートを基にした発達表への記入	4
2	小児の正常発達について学ぶ	[担当] 花城久子	同時双方向型授業	課題: 遠城寺式発達検査用紙を基にした反射・反応表への記入	4
3	小児の発達と動作の関連性について学ぶ	[担当] 花城久子	同時双方向型授業	課題: 運動発達及び運動発達原則についてまとめる	4
4	小児の発達と姿勢反射の関連性について学ぶ	[担当] 花城久子	同時双方向型授業	課題: 中枢の発達と運動の随意性の関係についてまとめる	4
5	小児疾患・障害の評価意義と方法について学ぶ	[担当] 花城久子	同時双方向型授業	課題: 姿勢反射と運動発達の関係について説明する	4
6	発達年齢を考慮した治療について学ぶ	[担当] 花城久子	同時双方向型授業	復習: ライフステージに応じたアプローチを復習する	4
7	整形疾患・知的障害に対する評価と治療について学ぶ	[担当] 花城久子	同時双方向型授業	復習: 整形疾患・知的障害と運動発達への影響を復習する	4
8	遺伝子疾患・重症心身障害に対する評価と治療について学ぶ	[担当] 花城久子	同時双方向型授業	復習: 主に遺伝性疾患について復習する	4
9	療育中の役割と治療方法について学ぶ	[担当] 花城久子	同時双方向型授業	復習: 療育の役割を復習する	4
10	疾患別治療の注意点について学ぶ	[担当] 花城久子	同時双方向型授業	復習: 疾患別治療の注意事項を復習する	4
11	脳性麻痺の評価・治療について学ぶ	[担当] 三科貴博	同時双方向型授業	復習: 評価項目を評価ごと比較し復習する	4
12	小児の発達についてのまとめをする	[担当] 三科貴博	同時双方向型授業	復習: 正常発達を復習する	4
13	小児疾患・障害の評価方法のまとめをする	[担当] 三科貴博	同時双方向型授業	復習: 評価法を復習する。	4
14	小児疾患・障害の治療方法のまとめをする	[担当] 三科貴博	同時双方向型授業	復習: アプローチを復習する	4
15	ここまでの学習の総括を行う。	[担当] 三科貴博	同時双方向型授業	課題: 定期試験の準備学習	4

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照		
---	----------------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価をする。教科書ならびに配布資料から国家試験形式で出題し、理解度を問う（花城 65%、三科 35%）	教科書、配布資料をもとに解説を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

備 考	
他 担 当 教 員	三科 貴博（理学療法コース専任教員）
教員の実務経験	花城 久子（非常勤講師）：病院、介護老人保健施設で理学療法士としての実務経験あり。三科 貴博：医療機関及び介護保険関連施設にて 8 年間の実務経験
実践的授業の内容	小児を対象とする理学療法を行う際に注意しなくてはならない成人との差異や問題点を臨床経験に基づく視点から解説し、臨床応用の方策を検討する。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Teams を使った同時双方向型授業を行う。 ・ 授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 ・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバス変更の可能性がある。変更が生じた場合には早急に改定版を知らせる。